

## サマーレビュー2013 調書

1 部局名・区名(課名)	健康福祉部 (高齢者福祉課)	2 優先順位	部局 1
3 事項名	市単独高齢者大型給付事業の見直しについて		
4 目的	今後における高齢者人口の急増を見据えた市単独高齢者大型給付事業の見直し 高齢者社会参加促進事業(バス・タクシー券交付) 敬老支援事業(敬老祝金・祝品) 敬老支援事業(敬老会開催費補助金)		
5 現状及び課題	団塊世代を中心に急増する高齢者人口(H27推計 21万人到達) 高齢者関係事業費の著しい伸び(H25予算 183億円←H17決算の1.5倍) 市単独高齢者大型給付事業の今後の伸び(H29には10億円規模)		
6 事業概要	バス・タクシー券の廃止を視野に入れた交付金額の引下げ(現行6,000円) ②敬老祝金の引下げと敬老祝品の整理 (現行 祝金:88歳3万円、99歳5万円 祝品:88歳、100歳、101歳以上) ③敬老会開催費補助金の引下げと対象年齢の引上げ(現行2,000円、75歳) 【今後重点的に取り組むべき事業】 ・老人福祉施設整備費助成事業(拡充:特別養護老人ホーム整備) ・ロコモーショントレーニング事業(新規:介護予防)		
7 関係法令等	高齢者等に交付する社会参加助成券に関する規則(昭和49年浜松市規則第85号) 敬老祝金の贈呈に関する内規(昭和45年浜松市内規) 敬老会等開催費補助金交付要綱(昭和55年浜松市要綱)		
8 スケジュール(いつ、何をやるか)	H25 社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会等との調整 H26 バス・タクシー券交付金額の引下げ H27 敬老祝金の引下げ 敬老祝品の整理(101歳以上) H28 敬老会開催費補助金の引下げ 敬老会対象年齢の引上げ H29 バス・タクシー券交付の廃止を含めた再見直し 敬老祝金・祝品の整理 敬老会対象年齢の引上げ		
9 他都市等の参考事例	①バス・タクシー券交付 実施 13市/20政令市、うち市営交通機関あり 10市 ②敬老祝金 実施 11市/20政令市、金額:5,000円~50,000円 敬老祝品 実施 14市/20政令市、品目:カタログギフト4市 ③敬老会開催費補助金 実施 9市/20政令市、金額:350円~3,700円		
10 市長マニフェスト	該当 / <input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
11 過去のレビュー等での審議経過	<input type="checkbox"/> なし(新規提案) <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> その他	具体的内容	
		H21 サマーレビュー 敬老祝金の見直しと代替事業について 論点:70歳以上の独居世帯及び介護予防の対応などが喫緊の課題となっているため、課題解消を図るべく施策を拡充する。 H22 サマーレビュー 高齢者社会参加促進事業(政策・事業評価) 論点:高齢者の社会参加という目的に見合うべき事業への改善 結果:引き続き事業を検証し、事業の内容、見直しを検討する。	

		H25 副市長レビュー(春) 市単独高齢者大型給付事業の見直し 論点:給付事業の見直しや今後の高齢者施策の方向性の確認 結果:新規提案事業の優先順位づけを今後整理し、具体的な内容をサマーレビューで協議する。				
12 サマーレビューで審議、確認したい事項 (該当項目を□→■)	□事業等の新規提案 ■既存事業の見直し □その他	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">具体的内容</th> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後における高齢者人口の急増に伴う高齢者関係事業費の伸びを見据え、団塊世代が 70 歳のバス・タクシー券交付対象年齢に到達する平成 29 年度までに、市単独高齢者大型給付事業を見直しすることについての方針の確認</li> <li>・ 高齢者を取りまく状況の変化により、さまざまな不安を抱える高齢者や立場の弱い高齢者が増加しているため、その課題に対応する重点事業に取り組むことについての是非</li> </ul> </td> </tr> </table>	具体的内容			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後における高齢者人口の急増に伴う高齢者関係事業費の伸びを見据え、団塊世代が 70 歳のバス・タクシー券交付対象年齢に到達する平成 29 年度までに、市単独高齢者大型給付事業を見直しすることについての方針の確認</li> <li>・ 高齢者を取りまく状況の変化により、さまざまな不安を抱える高齢者や立場の弱い高齢者が増加しているため、その課題に対応する重点事業に取り組むことについての是非</li> </ul>
具体的内容						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後における高齢者人口の急増に伴う高齢者関係事業費の伸びを見据え、団塊世代が 70 歳のバス・タクシー券交付対象年齢に到達する平成 29 年度までに、市単独高齢者大型給付事業を見直しすることについての方針の確認</li> <li>・ 高齢者を取りまく状況の変化により、さまざまな不安を抱える高齢者や立場の弱い高齢者が増加しているため、その課題に対応する重点事業に取り組むことについての是非</li> </ul>					
13 レビューの論点 (担当ヒアリングで確認、実施後記載)	【協議事項】 ・ 市単独高齢者大型給付事業の見直しと今後重点的に取り組むべき事業の確認					
14 サマーレビュー結果 (実施後記載。該当項目を□→■)	提案どおり進める 提案内容を一部見直しして進める 再度、調査研究等を行い検討 その他	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">具体的内容</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ただし、今後重点的に取り組むべき事業のうち、ロコモーショントレーニング事業については、対象者の拡大を図ること。</td> </tr> </table>	具体的内容			・ ただし、今後重点的に取り組むべき事業のうち、ロコモーショントレーニング事業については、対象者の拡大を図ること。
具体的内容						
	・ ただし、今後重点的に取り組むべき事業のうち、ロコモーショントレーニング事業については、対象者の拡大を図ること。					
15 その他						